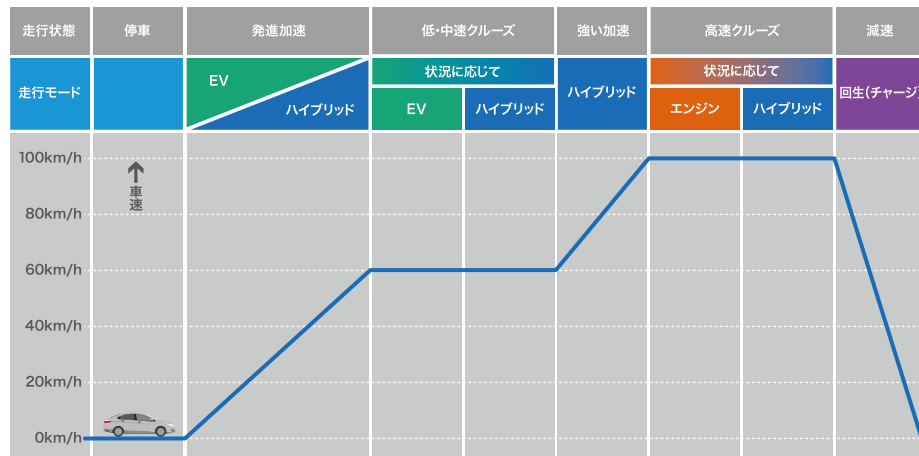


走行状況に応じて、最も効率の良い走行モードを選択

SPORT HYBRID i-DCDは、走行状況に応じて3つの走行モードの中から最も効率の良いモードを自動的に選択します。

発進や市街地での低速クルーズなど、モーターが得意とするシーンではモーターのみの「EVドライブモード」で静かに走行。クラッチがエンジンを切り離すことで高効率のEVドライブを実現します。加速時はクラッチを接続しエンジンを始動。モーターとエンジン両方の駆動力を使う「ハイブリッドドライブモード」で力強い走りを生み出します。高速クルーズなどエンジンが効率よく運転できるシーンでは、エンジンのみの「エンジンドライブモード」で走行。状況に応じてハイブリッドモードと使い分けます。また、随時きめ細やかな充電制御を行っています。減速時はクラッチでエンジンを切り離すことで、モーターが効率的に減速エネルギーを電力回生します。

■SPORT HYBRID i-DCD 走行イメージ

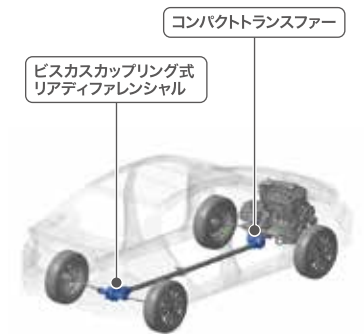


*2014年10月現在。5ナンバーハイブリッドセダンとして。Honda調べ。

ハイブリッドセダン、クラス初*のハイブリッド×4WD

寒冷地や降雪地域でも安心してお使いいただけるよう、優れた低燃費と4WDならではの力強さを両立した、4WDモデルをラインアップしました。4WDシステムにはビスカスカップリング式を採用。ハンプ(カップリング内プレートの金属接触による過剰トルク発生)状態にさせないハンプレス構造とすることで過剰トルクを抑制し、軽量、コンパクトな設計としています。また、雪上坂道発進など、極めて滑りやすい状況ではVSA協調制御によりスロットル開度を低減し、前輪の空転を抑制。前後輪の回転差を適切に制御してビスカスカップリングの特長である優れた初期応答性を維持しつつ、後輪への最適なトルク配分を実現しています。

■ビスカスカップリング式4WDシステム



■VSA協調制御イメージ

